

テーマ：神様の前に罪を告白して、赦された者の喜びはどのようなものか

●**歴史的背景：ダビデの犯した罪(cf. 2 サムエル記 11-12)**

→ 表題：「マスキール」(動詞：サーカル)

「マスキール」とは、これが教育的または教訓的な詩篇であることを示しています。ひとりの信仰者の経験は他の人々にも豊かな教訓を与え、主の群れの足取りを明らかにし、そのようにして、弱い者たちを慰め導くのです。」(チャールズ・スポルジョン)

○**罪を柚須されたダビデの証言：**

●**教訓：罪の赦しの内に最高の喜びを見出すことができる(1-2)**

※「幸いなことよ」(x2)

「幸いなことよ。悪者のはかりごとによらず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。」(詩篇 1:1-2)

※罪に関する三つの言葉

1) そむき

2) 罪

3) 咎

※創世記 4:13

「カインは主に申し上げた。「私の咎(罪の罰)は、大きすぎて、にないきれません。」

※罪の赦しに関する三つの言葉

1) 赦され

※詩篇 103:12

「東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。」

2) おおわれた

3) お認めにならない

※イザヤ 43:25

「わたし、このわたしは、わたし自身のためにあなたのそむきの罪をぬぐい去り、もうあなたの罪を思い出さない。」

●根拠：個人的な経験を通して(3-7)

※ヘブル 12:5-6

「…わが子よ。主の懲らしめを軽んじてはならない。主に責められて弱り果ててはならない。主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、むちを加えられるからである。」

●適応：罪の赦しの内に喜びがあることを知った者の応答(8-11)

a) _____を為すのに頑なであってはいけない(9)

b) 罪を_____を実践すること(10)

c) どんな時も主にあって_____続けること(11)

※箴言 28:13

「自分のそむきの罪を隠す者は成功しない。それを告白して、それを捨てる者はあわれみを受ける。」

○まとめ